

## 平成31年度

## 事業報告書

特定非営利活動法人がんサポートコミュニティ

### 1 事業の成果

#### (1) 心理社会的支援活動事業

##### (ア) サポート事業

同じような境遇にあるがん患者同士が出会い、語り合うことで不安や悩みを解消したり、“自分らしい”生き方を取り戻すことを目的として、大腸・肺・乳腺・前立腺・消化器A（肝臓・胆嚢・膵臓）・消化器B（胃・食道）といったがんの「発症部位別グループ」、また男女区別なく腎臓・膀胱といった希少部位にがんが発症した患者のための「混合グループ」や乳腺・子宮・卵巣といった女性特有の部位にがんが発症した患者のための「女性混合グループ」、さらに近年話題となっている就労しているがん患者を対象とした「サタデーグループ」を編成、さらに出張サポートグループとして柏市の協賛を得た「柏サポートグループ」と大阪マラソンの寄附金による「大阪サポートグループ」を企画し、看護師、社会福祉士及び臨床心理士といった専門家によってファシリテートされるグループ療法を提供した。各グループは月1～2回、年間178回開催し、延べ826人ものがん患者及び家族に対しグループ療法を提供した。

##### (イ) 医療相談事業

外科および緩和ケアを専門とする医師2人による医療相談を毎週水曜日に開催し、がん患者及び家族30人に対してアドバイスを行った。

#### (2) 技術的支援活動事業

##### (ア) リラクゼーション事業

がん患者及び家族を対象として、①自律訓練法講座を月2回、計11回開催、延べ21人が参加、②ヨガ講座を月2回、計22回開催、延べ144人が参加、③アロマセラピー講座を月1回、計6回開催、延べ11人が参加、④コーラス講座（いきのちから合唱団）を月2回、計22回開催、延べ471人が参加、4種の講座合計61回開催、延べ647人のがん患者及び家族に対し提供した。

#### (3) 普及啓発活動事業

##### (ア) 講演会

がん患者及び家族、市民に対し、がんに関する意識・知識の向上を目的とした第17回ペイシエント・アクティブ・フォーラムを令和元年9月28日（土）によりり大手町ホール（東京）にて開催した。208人の来場者に対し、「がんのない社会をめざして一減りつつある肝臓がん、ねらうは肺がん」をテーマに、「がんの原因に基づいた予防と治療」をテーマに大阪国際がんセンター副院長／臨床研究管理センター所長／検診部部長・片山和宏氏に、「がんのゲノム医療—何がわかる？どこまでわかる？」をテーマに帝京大学医学部内科学講座（腫瘍内科）准教授・渡邊清高氏にそれぞれ基調講演いただいた。その後、パネルディスカッションを行った。

##### (イ) 市民向けセミナー

①第9回がんを学ぶセミナーTOKYO：関東圏在住のがん患者とそのご家族に対するがんに関する

意識・知識の向上を目的にセミナーを令和元年7月20日(土)にがんサポートコミュニティー(東京)にて開催、がん患者及び家族22人とスタッフ3人の計25人が参加した。永寿総合病院がん診療支援・緩和ケアセンター長・廣橋猛氏を講師に招いて「がん患者の安心を紡ぐ二人主治医制」をテーマに講演いただいた。

#### (ウ) 教育研修事業

将来サポート事業ならびに地域におけるサポート活動を担う人材育成のために、「ファシリテーター研修プログラム」を開発し、エーザイ株式会社との共催で、外部講師3人を招き、がん診療連携拠点病院及び東京都認定がん診療病院に勤務する看護師、社会福祉士及び臨床心理士17人、スタッフ9人の計26人に対し令和2年1月11日(土)～12日(日)にエーザイ東京コミュニケーションオフィス(東京)で実施した。

#### (エ) 大阪マラソン

ランナーがそれぞれ選択したテーマに500円ずつ寄付するチャリティマラソンとして第9回大阪マラソンが令和元年12月1日(日)に開催された。そのチャリティー募金先の一つとして参加し、ランナー3万人2,000人を含む5万5,000人に対して、11月29日(金)～30日(土)にインテック大阪で開催されたEXPO2019会場において「がんにならない、がんになっても自分らしく生きる社会」をめざして、がん検診受診と大阪サポートグループの認知向上を呼び掛け、9,014,316円の募金をいただいた。

#### (オ) 説明会

がん患者及び家族に対して、がんサポートコミュニティーの活動事業を紹介するために毎週金曜日に開催した。23回開催し、31組が参加した。

#### (カ) がんサポ通信

がん患者及び家族、市民に対して、がんサポートコミュニティーの活動事業を紹介するために年2回発行、1回あたり2,000部を配布した。

### (4) 調査研究及び情報交換事業

#### (ア) 患者交流事業

①第3回とわの会：令和元年10月19日(土)に事務所においてサポート事業に参加していた患者が亡くなり、その遺族に対するプログラムとして第3回とわの会を企画、遺族7人、スタッフ6人の計13人が参加した。

②第18回クリスマスパーティー：令和元年12月16日(土)に築地テラス(東京)において第18回クリスマスパーティーを開催し患者及び家族11人、スタッフ7人の計18名が参加した。

#### ③第18回春の研修旅行

がん患者とそのご家族に対するがんに関する意識・知識の向上を目的に1泊2日の第18回春の研修旅行を令和元年6月8日(土)～9日(日)に三井物産人材開発センター(静岡)にて開催、外部講師3人を招き、がん患者及び家族12人とスタッフ11人の26人が参加した。

#### (イ) その他

第一三共と劇団四季が主催する「家族のきずなシアター」に後援し、がん患者及び家族142組447名を招待し劇団四季ミュージカル「キャッツ」を令和元年8月4日(日)にKAAT神奈川芸術劇場(神奈川)にて「パリのアメリカ人」を観劇した。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

(事業費の総費用【 31,494 】千円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費(千円)
心理社会的支援活動事業	サポート事業:患者及び家族に対して部位別・状況別の各種サポートグループを毎月1~2回運営した。	日曜祝祭日を除く毎日	事務所	11人	がん患者・家族	826人	15,103
	医療相談事業:患者及び家族に対し複数の医師による医療相談を希望に応じて実施した。	原則として水曜日	事務所	2人	がん患者・家族	30人	
技術的支援活動事業	リラクゼーション事業:患者及び家族に対するヨーガの指導を実施した。	原則第1・3木曜日	事務所	1人	がん患者・家族、市民	144人	2,997
	リラクゼーション事業:患者及び家族に対するアロマセラピーの指導を実施した。	原則第3金曜日	事務所	1人	がん患者・家族、市民	11人	
	リラクゼーション事業:患者及び家族に対する自律訓練法の指導を実施した。	原則第1・2火曜日	事務所	1人	がん患者・家族、市民	21人	
	リラクゼーション事業:患者及び家族に対するコーラスの指導を実施した。	原則第1・3月曜日	南大塚地域文化創造館/南大塚ホール	4人	がん患者・家族	471人	
普及啓発活動事業	市民啓発を目的とした講演会「ペイシエント・アクティブ・フォーラム」を開催した。	9月28日	よみうり大手町ホール	15人	がんに関心のある一般市民	208人	10,621
	市民啓発を目的とした「がんを学ぶセミナーTOKYO」を開催した。	7月20日	事務所	3人	関東圏のがん患者・家族、市民	22人	
	関東圏の専門家を対象に後進の育成を目的とした「ファシリテーター研修」を開催した。	1月11日~12日	エーザイ東京コミュニケーションオフィス	9人	関東圏のがん専門相談員	17人	
	広く市民に対するがん啓発を目的とした「大阪マラソンEXPO」に出展した。	11月29日~30日	インテックス大阪	12人	市民	55,000人	

普及啓発活動事業	がん患者及び家族に対して活動紹介を目的とした「説明会」を開催した。	原則として金曜日	事務所	4人	がん患者・家族	31人	
	広く市民に対する活動紹介として「がんサポ通信」を発行した。	8月1日 3月1日	事務所	10人	がん患者・家族、市民	4,000人	
	広く市民に対するがん啓発を目的とした「がん患者支援アプリCAN.」を開発、運営した。	随時	事務所	3人	がん患者・家族、市民	920人	
	がん患者及び家族に対して関係図書を頒布した。	随時	事務所	2人	がん患者・家族	300人	
調査研究及び情報交換事業	患者交流事業：がん患者の遺族に対して「とわの会」を開催した。	10月19日	事務所	6人	遺族	7人	2,773
	患者交流事業：がん患者及び家族に対して「春の研修旅行」を開催した。	6月8日 ～9日	三井物産 人材開発 センター	11人	がん患者・家族	12人	
	患者交流事業：がん患者及び家族に対して「クリスマスパーティー」を開催した。	12月16日	築地テラス	7人	がん患者・家族	11人	
	その他：患者及び家族に対し家族の絆を深めることを目的とした「家族のきずなシアター」を開催した。	8月4日	KAAT 神奈川 芸術劇場	5人	がん患者・家族	447人	

(2) その他の事業

(事業費の総費用【           】千円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	事業費(千円)
	該当なし				